

令和 7年度予算見積調書

課室名：さきたま史跡の博物館
 担当名：総務・公園管理担当
 内線：

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P81	さきたま史跡の博物館管理費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費	
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則			針路 分野施策	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 0803 文化芸術の振興	SDGsゴール SDGsターゲット	4, 8, 11 4-7, 8-9, 11-4
1 事業概要 さきたま史跡の博物館を適切に管理し、埼玉県の誇りである国宝「武蔵稲荷山古墳出土品」等の保管、資料の収集保護活用の円滑化、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の一層の保存活用を図るとともに、考古資料の展示や体験事業を通じて県民の学習活動を促進する。 ア 情報・体験学習室の運営 2,146千円 イ 展示・広報活動 3,570千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 情報・体験学習室の運営 2,146千円 イ 展示・広報活動 3,570千円 (2) 事業計画 ア 体験学習室の運営 まが玉作りや古代体験、さきたま講座、史跡探訪等の事業を行い、史跡や文化財に対する興味・関心を高める機会を提供する イ 企画展の開催 (ア) 最新出土品展の開催を予定 (イ) 企画展の開催を予定 (3) 事業効果 令和5年度利用者数 63,489人 【活動指標(アウトプット)】 ・企画展や特別展の実施5件・体験工房入場者数7,995人・アウトリーチ参加者数3,176人・館有資料の貸出点数4,605点 【成果指標(アウトカム)】 ・観覧者満足度 85％・企画展関連講座満足度 85％・体験事業における満足度 92％・利用者数98,000人 (4) 県民・民間活用、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア まが玉作り等の事業でボランティアを活用 イ 広報誌等への掲載での相互協力、県立学校とのイベント等の実施 ウ 埼玉県埋蔵文化財調査事業団と連携して、ほるたま展を開催 エ 地元市町村や企業等と連携して、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の魅力を高め、広く周知					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人＝43,700千円									

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		財産収入	諸 収 入					
決定額	5,716	4,043	85				1,588	△96
前年額	5,812	3,943	135				1,734	

事業内訳書

事業名	さきたま史跡の博物館管理費		
単位事業名	情報・体験学習室の運営	予算額	2,146千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	3,400	100	まが玉づくり
諸収入・ 雑入	85	△50	古代体験 博物館実習
一般財源	△1,339	△154	
合計	2,146	△104	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	40	0	さきたま講座 講師謝金 2回分
需用費	2,041	△113	まが玉づくり消耗品
役務費	65	9	体験活動衣装洗濯 ボランティア保険
合計	2,146	△104	

単位事業名	展示・広報活動	予算額	3,570千円
-------	---------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	643	0	シンポジウム資料 古墳群散策ガイド
一般財源	2,927	8	
合計	3,570	8	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	195	0	テーマ展関係講座講師謝金 1回分 シンポジウム講師謝金 1回分
需用費	1,056	0	シンポジウム講師昼食代 シンポジウム資料代 古墳群散策ガイド製作代
役務費	1,000	0	考古資料搬出入経費
委託料	1,194	8	企画展印刷物等製作業務委託 グッズ製作委託

単位事業名	展示・広報活動	予算額	3,570千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	125	0	ソフトウェアデバイスライセンス シンポジウム会場使用料 1回分
合計	3,570	8	